



H29. 7. 10 (月)

ひよこ組の子どもたちは部屋にあるロッカーを開けたり、閉めたり、ベッドの下に潜ったりと探索あそびをしています。行動範囲が広がり、子どもたちは刺激をたくさん受けて過ごしています。今月は過ごしやすい部屋の中で巧技台やユニットサーフを使って遊んだり、目の前にあるおもちゃに手を伸ばしたりして、子どもたちの好奇心が高まるように、月齢に合わせた遊びを計画しています。



これなあに？

ひよこ組の天井にある天の川。子どもたちは上を見て「あっ、おっ。」と声を出しています。すべり台の上に登り、届かないかなあと手を上に伸ばしている姿がとてもかわいいです。

体操大好き

「おもちもちもち」「ぐるぐるどっか～ん」などの体操を踊っています。最初の頃は“きょとん”とした表情で見ていた子どもたちですが、最近は体操の曲が聴こえると「おっ！！」と表情が変わり、手をぐるぐる回したり、身体を揺らしたりして踊っています。



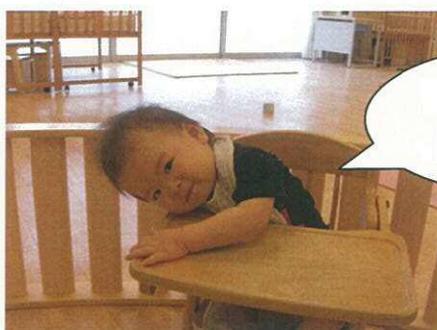
「よろしくね」

7月から新しいお友だちが2人、増えました♪

I・Mくん



S・Yくん





平成 29 年 7 月 10 日 (月)

お部屋の天井を、天の川に見立てて、星を散りばめています。子どもたちは、天の川の中の星に触れようと、ジャンプしたり、見上げて「きれいね」とお話しています。その星を見上げながら、「キラキラ光る お空の星よ♪」とはなちゃんが歌いだすと、みんなも一緒に歌っています。このような感性を大切に日々、子どもたちの育ちを見守っていきたいと思っています。



出たよ～

月齢の高い子どもたちから、トイレトレーニングを始めています。お気に入りの布パンツをはくと、「がく、くるま!」「はな、ミッキー!」と見せ合っています。友だちと一緒にトイレに行くと、「出た?」「出たよ～」等、笑顔で会話していて、トイレが子どもたちのお気に入りの場所となっているようです。トイレでの排泄に成功した時は、お互いに喜びあい、生活習慣の自立へと向かっています。保育士はそれぞれのペースに合わせて、布パンツへと移行していこうと思っています。

先月のクラスだよりで紹介した、”おてぶしてぶし”のわらべうた遊びを、お食事の前に保育士がしていると、「さっちゃんもしたい!」と目を輝かせて言いました。「先生のかわりにしてくれる?」と聞くと、「うん」と言い、保育士の椅子に座り「おてぶしてぶし♪」とはじめました。最後には、両手をグーにして前に出し、「どーっちだ」という誇らしげな顔をしていました。その日から、お食事前には、小さな先生が交代で、わらべうた遊びをしています。大きな椅子に座る小さな姿はとっても可愛らしくもあり、頼もしいです。



新入園児の紹介

I・Mくん

たくさん遊ぼうね



すみれぐみ担任：中村,有蘭,舩石,萩尾



ちゅうりっぷだより



H29年7月10日発行

七月に入り、梅雨が終わると本格的な真夏の暑さがやってきます。暑さを避けて、室内での遊びが多くなりますが、時には園庭の涼しい木陰で、外気にふれることも大切に計画しています。

室内の冷房の調節や水分補給など子どもの体調の小さな変化に注意して、この夏の子どもたちの健康を守っていきます

○七夕たのしみだな○

七夕の製作では、自分でちぎった折り紙をのりで紙皿に貼り付け七夕飾りを作りました。子どもたちはのりを貼るのを一つ一つ真剣な表情で貼っていました。

また、お母さんと一緒に考えて願い事を書いた短冊を保育士が読みあげると照れた顔をしていました。



～みんなパンツで過ごしています～

7月に入り、ちゅうりっぷ組の子どもたちはおむつをはずしてパンツで過ごせるようになってきました。一人ひとり排尿の間隔はまちまちなので、保育士が声掛けをしてトイレに向っています。2歳児後期に向けて育っています。

着脱時には、排泄の自立を喜んでパンツを誇らしげに保育士にみせています。

「さよならさんかく」

食事の前の絵本の前に「さよならさんかく」の絵本を読んでいます。絵本の中に出てくる形や色などに興味を持ち、絵本をよんでいると、「赤やね。」

「丸よ。」と子どもたちの声が聞こえ形や色を覚えて楽しんでいます。



2歳児 井上 桑原 唐木





第4号 こすもすだより



平成 29 年 7 月 10 日 (月)

♪めだかーのがっこうは～♪

梅雨の晴れ間に、お散歩に出かけました。

いつもは道路から見ていた槻田川に、「おさかないかな～？」の子どもの声に誘われて川べりを歩きました。太陽の光に当たりキラキラと輝く川を見て、「メダカさんのお家がキラキラしているね」「ジョボジョボって川の音がするね」など話しをしていました。すると「キラキラしてお魚が見えないよ」と、れいなちゃんが言うと、そうすけ君が「座ってみたら見えるよ」と言うと、みんなが川べりに座り込み身を乗り出して川の中を見始めました。「本当だ！見えるね」と言いながら見ている子どもの姿にハラハラしながらも、川底の石やメダカ、魚が泳ぐのを見て「めだかのがっこう」の大合唱が始まりました。歩道を歩いていた地域の方が足を止めて、「上手ね！」と拍手をくださり、和やかなひと時を過ごしました。

星に願いを・・・

7月7日の七夕に、織姫と彦星は無事に会うことができるかな？とお天気を気にして外を見ていると、大粒の雨が窓からはねる音が聞こえてきました。すると♪あめが あめが



ふっている 聞いてごらんよ音がする♪と歌い始めた子どもたち。「せんせい！雨でもおり姫とひこ星会える？」と、すずなちゃんが心配そうな顔で聞いてきました。私は「どうかな？会えるかな？」「会えるといいね」とつぶやくと「お星さまにお願いしたらいいよね」と傍にいたりさちゃんがこたえました。子どもたちのやさしい思いが届きますように・・・。



あめのお散歩

あめの日のお散歩を計画していたこすもす組。梅雨空のなか子どもたちは、自分の長靴と傘に大喜び！「ぼくの傘は青よ」「長靴一緒だ」と互いに見せ合い出発しました。今にも降りそうな空、長靴に傘をもって園庭や畑に行き、なかよし公園まで足を延ばしました。歩く途中葉っぱに雨粒がたまり、キラキラと光っているのに気づいて、足を止め触ったり、水たまりに入り水の動きを気にしながら歩いていました。帰りには、雨が降り出し、傘を差して雨の音を感じて楽しそうに歩く足取りは、見ていてとても軽やかに見えました。九州地方にもたらした大雨の自然災害を見ると、自然の怖さを感じますが、この日の雨は、自然の豊かさを肌で感じる事ができた貴重な体験だったと思います。



こすもす組担任：崎野・河内



ひまわりだより

平成 29 年 7 月 1 0 (月)

〈 育つ喜び 〉



6月21日にひまわりの種を植えました。子ども達は、梅雨の晴れ間にプランターをのぞき込んで「まだ、芽が出ないかな?」「早く大きくなってね」と芽が出るのを待ち望んでいました。ついに28日に、ふたばが可愛く芽を出しました。気づいた子どもたちは「ひまわり、芽がでてよ」「見てみて」等、友たち同士で話したり、喜んでいました。

水やりをする時に「大きくなってね」と、話しかけたり、「昨日、芽が2つだったのが4つに増えてる」と、日々の生長を楽しみにしています。子どもたちと水やりをしながら、どれくらい大きく育つのかと、ひまわりと一緒に育つ生長が、まぶしく感じられる日々です。



「かるたあそび」

かるた遊びをしていると、最初は、読む役の子どもが、かるたをとってしまったりと、ルールを理解していなかったのですが、毎日繰り返して遊んでいくうちに、遊び方が分かってきて、今では、読み手の子どもも上手く読めるようになってきました。また、遊ぶ人数も7、8人に増えています。読めない字があると、「これ、なんて読むの?」と、保育士に確認しています。遊びながら、文字を覚えたりひらがなに興味をもつ、子ども達の疑問や関心をこれからも大切にしていきます。

大好きなわらべ歌あそび

「でんでんむしむし」・「たなばたさま」

3歳までは、保育士と2人で組んだり少人数で遊ぶわらべ歌を楽しんでいましたが、ひまわり組になってからは、その範囲が広がってクラスみんなでわらべ歌を楽しんでいます。



「お知らせ」

これから、水遊びや泥んこ遊びをする機会が多くなります。また、汗をかきますので、ロッカーの中に多めの着替えを準備しておいていただくと、助かります。宜しく願いいたします。

ひまわり組担任：草場・今丸



発行：平成29年7月10日（月）

九州各地の豪雨による被害の様子が日々報道され、不安と痛々しさを感じる日々です。その梅雨の合間の夏の日差しを浴びて、きらきらもりもり畑の野菜がグングン生長し、日々大きくなっています。子どもたちは驚きと発見の日々です。この時期に、畑の野菜の生長と共にパワーを蓄えて、大きな実をつけることができるよう、一日一日を大切にしながら関わっていきたいと思っています。

ねえ聞いて こんな俳句は おもしろい？

園長先生の集会で、表現の一つとしてカルタのような簡単な文章作りから始め、俳句をつくってみました。初めは、自分の思いや考えたことを5・7・5の形に上手く言葉をのせることができず、難しい表情をしていました。しかし、今では「先生、面白い俳句ができたよ」「良い俳句ができたから聞いて！」と俳句作りに夢中のこどもたちです。園長先生に作って頂いた“俳句帳”とえんぴつを持ち、楽しそうに指を折りながら考え、出来上がった俳句に、百人一首のような歌をつけて読んでいる姿は、まるで小さな詩人のようです。子どもたちの句には、大人が思いつかないようなハッとさせられるものや思わず笑ってしまうものがあり、素敵なお俳句ができあがりました。そんな子どもたちの夢のつまった俳句を今、習字で表現しています。お部屋に飾っていますので、時間があるときにご覧になって、ほっこりとした温かい気持ちになってください。

会えるといいな★

連日続いた九州の豪雨に、「すごいことになってるね。大丈夫かな。」「織り姫様たちも困ってるかも」と心配そうに空を見上げていた子どもたち。7日の七夕まつりでは、織り姫と彦星になり、“たなばたさま”の踊りや俳句を披露したり、七夕のお話の表現遊びをしたりしました。雨が降っていましたが、子どもたちは「きっと織り姫様と彦星様は会えたよね」「お空の上で私たちの踊りを見てくれたと思う」と夢をふくらませていました。残念ながらやすらぎ荘での七夕まつりは、中止となりましたが、子どもたちは「雨が降っておじいちゃんたちに会えなかったから、私たちも織り姫様と彦星様みたいだね」「今度は会えたらいいな」と織り姫と彦星のように、いつか会えることを心待ちにしています。



朝顔咲くかな



先月23日に、朝顔の種を植えました。子どもたちは登園時や降園時にも朝顔の様子を観察し、毎日お世話をしています。種を植えて4日後、鉢を見た子どもたちは、「芽が出てる！」「もうすぐふたばが開きそう」「どんな色の花が咲くんだろう」と朝から芽が出たことを喜び、大興奮で話していました。これからの生長を楽しみにし、朝顔よりも一足先に会話に花を咲かせている子どもたちです。